

各 位

公益社団法人 日本工学教育協会
技術者倫理調査研究委員会委員長 札野 順

Good Work 技術者倫理教育のためのオンライン研修会のご案内

具体的で説得力のある技術者倫理教育を展開していくためには適切な事例教材が必要不可欠です。しかし、実際に起こった事件・事故を利用するだけでは結果論になり、またニュース報道などの情報だけでは現場の技術者が実際に抱えた苦悩がわかりにくく、規範を示すだけの授業になりがちです。そのような倫理教育では、エンジニアリングに対する学生の積極性も阻害されかねません。それを改善するためにポジティブな内容を取り上げようとしても、過去の技術者の成功体験を取り上げるだけではやはり結果論による規範的な内容になりがちでしょう。もちろん倫理教育において規範性は重要ですが、学生の主体的な行動変容を促すためには、具体的で臨場感をともない、かつポジティブな感情も促す仮想事例教材の開発が望まれます。

この教材開発の課題について、週をまたいだ晩夏の計 2 日間で知恵を持ち寄り、グループ活動で実際に事例教材を作成しながら、事例教材作成のガイドラインとヒントを検討するためのオンライン合宿（サマーキャンプ）を企画しました。技術者倫理教育の仮想事例教材の作成に悩ましさを感じている方はもちろん、これから仮想事例教材の活用を考えている方も、ぜひこの機会に積極的にご参加ください。大学や高専での授業をお考えの方だけでなく、企業等での研修をお考えの方も大歓迎です。

【日時】1 日目：2021 年 8 月 19 日（木）10:00–17:00 / 2 日目：2021 年 8 月 26 日（木）10:00–14:30

※事前準備のための説明会：8 月 5 日（木）16:00–17:00（希望者のみ）

【場所】オンライン開催（Zoom） Zoom アドレスは参加登録後にお知らせします。

【参加費】無料。定員 100 名

【参加条件】技術者倫理教育の改善を目指している方であれば、大学、高専、企業など、ご所属に関係なく、経験も不問でご参加いただけます。ただし、参加者には事前宿題があります。（下記参照）

【参加登録方法】下記の Google フォームから 8 月 12 日（木）までにお申し込みください。

<https://forms.gle/MfkejWGasjGiMgZo7>

【継続教育ポイント】1 時間につき 1 ポイント + 参加 5 ポイント

【問い合わせ先】日本工学教育協会事務局 川上 ethics@jsee.or.jp

【本企画の目標】

1. Good Work（GW）仮想事例教材作成のためのガイドラインとヒントをまとめる。
2. 新しい事例を一つは自分でつくる。

【本企画の成果について】

本企画で作成した仮想事例の著作権は作成者に帰属しますが、よりよい工学教育の普及のため、参加者がクレジットを明記した上で各自の授業に合わせて自由に変更を加えて活用できることとします。さらに、ここでの成果（事例、事例作成ガイドライン、ヒントなど）は科研費研究「社会の福利を志向する技術者を育成する倫理教育プログラムの構築」（18H01067）の成果の一部として無償公開される予定です。これらについて事前に了承ください。ご質問があれば何なりと問い合わせください。

【参加者の事前宿題】

- 参加にあたっての事前宿題として、行動方針の選択によって人々の幸せと技術の発展を促す Good Work (GW) を志向しうるミニケースをとりあえず一つ作成し、そのティーチング・ノート（事例解説、教育達成目標、その他の事例作成上の工夫などをできる範囲で用意）とともに簡単に報告できるように準備してください。
 - あるいは、そのような GW の観点に乏しくても、授業で現在使用しているミニケースを一つ、そのティーチング・ノート（学生からの回答とそのフィードバックに関する報告もできればぜひ）とともに簡単に報告いただくことでもかまいません。
 - 技術者倫理の授業経験や仮想事例教材の利用経験がなければ、とりあえずどのようなものでもよいのでミニケースを新しく作成してください。

なお、ミニケースとは、A4 一枚に収まる仮想事例教材であり、事例の帰結を明示せずその登場人物の立場で判断に迷う時点の行動案を考える（議論する）ことを目的とするものです。これらの準備に関わる GW についての解釈は参加者の自由とします。ご不明な点は、8月5日の事前説明会で何なりとご質問ください。

【プログラム】

| 事前解説（任意参加）8月5日（木） 16:00-17:00 | |
|--------------------------------------|--|
| 16:00 | 事前宿題についての解説 |
| 8月19日（木）1日目 10:00-17:00 | |
| 10:00 | 開会挨拶／趣旨説明：夏目賢一（金沢工業大学） 総説①「技術者倫理教育で GW エンジニアリング事例を活用する可能性」 札野順（早稲田大学） |
| 10:30 | 総説②「日工教倫理委員会の科研費プロジェクト紹介」 小林幸人（熊本高専） |
| 10:45 | 参加者からの事例紹介 |
| 12:00 | 昼休み |
| 13:00 | 解説①「倫理事例作成における基本的な問題」 片倉啓雄（関西大学） |
| 13:20 | グループ活動の方針説明 |
| 13:30 | グループごとの事例作成作業① |
| 14:45 | 休憩 |
| 15:00 | 解説②「GW 技術者倫理を促す心理的要因」 永岑光恵，栗山直子（東京工業大学） |
| 15:20 | 2日目の予定とそのため準備・宿題についての説明 |
| 15:30 | グループごとの事例作成作業② |
| 16:20 | 解説③「Well-being 教育に関するさまざまなアイデア」 夏目賢一 |
| 16:40 | 全体での質疑応答 |
| 17:00 | 終了 |
| 18:30 - 20:00 | オンライン懇親会・討論会（任意参加／食事は各自用意） 「GW エンジニアリングの実現を構成するものは何か？」 |
| 8月26日（木）2日目 10:00-14:30 | |
| 10:00 | 2日目の説明 |
| 10:10 | グループごとの事例発表 |
| 11:00 | 総合討論「事例作成のガイドラインやヒント」 |
| 12:00 | 昼休み |
| 13:30 | グループごとに改善した事例を PDF ファイル等で共有・質疑応答 |
| 14:20 | 閉会挨拶／今後の展望：札野順 |